



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2015年9月15日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局 神奈川大学 総務部校友課内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-481-2741

第24号

2月定時総会において体調不良の為に鈴木会長が退任し、新たに会長に選出されました。組織・広報委員、奨学金等協力委員、産官学共同専門委員の皆さんと力を合わせ本クラブの発展に努力していく所存です。会員の皆様には、これまで以上に指導・ご支援をお願い致します。



神奈川大学フロンティアクラブ会長 村田龍也 (昭和39年経済卒)

母校や大学を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。18歳人口の減少は、2018年以降に一段と拍車がかかることが予想され、他大学も学生確保に必死です。他校とは異なる特性を持ち、魅力に富み、学生をひきつけられるような大学に母校がさらに発展するよう、我々卒業生は可能な限り支援活動を行っていき

会員交流で、母校の発展に貢献を

たいと思っています。本年も皆様の温かいご支援のお蔭で、10名の学生に奨学金を給付致しました。受給学生からは深い感謝と勉学への決意が示されました。改めて御礼申し上げます。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

フロンティアクラブ会員紹介



永和田 隆一 思い出はサークルとゼミ活動

1982(昭和57)年に経済学部経済学科を卒業し、1983(昭和58)年1月より学校法人神奈川大学に事務職員として奉職しました。入職後は、主に財務関係部署に勤務し、本年4月より事務局長を拝命いたしました。学生時代の思い出は、サークル活動と3年次からのゼミナル活動です。サークルは、「徒歩旅行団ハリス」というサークルに所属し、夏休みや春休みなどには日本全国を歩いて旅をし、

事務局からのお知らせ

▽ゴルフ会 日時=12月4日(金)・8時半現地集合。コース=富士カントリークラブ(静岡県御殿場市東山2472・電話0550-82-1616)。会費=16,980円(キャディー付き、プレー代・賞品代含む、食事は別)。募集人員=7組(28人)。参加資格=会員・神大教職員・神大卒業生。懇親会と表彰式は神大箱根保養所で宿泊温泉を楽しむ懇親の会の参加者と合同で行います。▽宿泊温泉を楽しむ懇親の会 日時=12月4日(金)~5日(土)・午後5時現地集合(午後2時からチェックイン可)。宿泊場所=神大箱根保養所(箱根町大字千石原1104-1)・電話0460-84-9611。費用(1泊2食付、お酒・特別料理代含む)=8,000円。締め切り=11月13日(金)。詳細は、別途お知らせします。(ゴルフ会または温泉を楽しむ懇親の会のみ参加も歓迎です)

平成27年度 村橋・フロンティア奨学金

工学部建築学科2年 橋本里南

この度は、平成27年度村橋・フロンティア奨学金に採用していただきましたこと、心より感謝申し上げます。私の家庭は、母、姉、妹、私の4人家族です。姉は、私立四大に在学中であり、妹は今年公立高校に入学しました。母は、介護士として働いていますが、経済的に非常に厳しく、奨学金

大沼憧真

工学部機械工学科1年

私は大学生のほうが高校生の時よりも多くのことに取り組めると思っていました。確かにできることも多くなり、選ぶ楽しみもありました。しかし、それと同時にしなければならぬことも増え、現在は忙しく毎日を過ごしています。

工学部機械工学科1年

イダダは、公務員を目指すならば遅くとも3年生までには動き始めた方が良く聞き、今はどうしようか考えています。公務員を目指すのか、企業への就職を目指すのかはまだ決めることができていません。また、理系の公務員もあるのですが、理系の公務員はあまりポストがないので昇進が少ないと聞かれました。そして、理系は文系の方でも十分入れると言われました。公務員を目指すならば理系の公務員か普通の公務員か決めねばなりません。それらを2年生の夏までには決めたいと思っています。

工学部機械工学科1年

それを選ぶとしても役立つのはITに関する知識と技術だと考え、そのための資格を取っていきたくと考えています。ITの資格は自分の卒業後の進路を増やすこともできると思っています。現在はITパスポートを取るために動き出しています。きたら、次は基本情報技術者を目指していきたくと思っています。しかし、資格の取得に集中しすぎて単位を落としたりしないようにしたいと思っています。就職ガイダンスでも理系はあまり

工学部機械工学科1年

士、将来的には一級建築士取得を目標に勉学に今後も励んでいこうと思います。そして、今年の夏休みを活用して国内インターンシップに参加します。社会に対する視野を広げ、自分の不足部分を見つめ直し、学生のうちに心身に成長させていきたくと思っています。最後にありますが、多くの応募者の中から私たちを選んでいただいたことに深く感謝し、神奈川大の学生であること、奨学

工学部機械工学科1年

生であることに誇りと自覚を持ち、校訓である質実剛健・積極進取・中正堅実を常に意識しながら学生生活を送っていきたくと思います。そして、自分の夢を叶え、被災地復興に少しでも役立つ人材になることで皆さまに恩を返していきたいと考えています。本当にありがとうございます。 (神奈川大学事務局)

体系的な新国際ビジネスのコミュニケーション コミュニケーション 岡本祥子・亀山修一 共著 (白桃書房・2,315円+税)



フロンティアクラブ会員紹介

早川 巖

最も記憶に残るゼミ活動



昭和三十二年経済学部を卒業しました。静岡県牧之原市出身で静岡市に本社のある鈴与に入社、今日に至っております。お導きの程よろしくお願い申し上げます。

私が在学中の神奈川大学は、大変な成長期で毎日キャンパス

のどこかで校舎を建てる鈍音がしていました。団塊世代の受け入れ体制の関係もあって、学部学科が次々に新設され、学生数も瞬く間に増えていったように思います。

最も記憶に残っているのはゼミナール活動です。金融論の山口茂先生に師率し、毎週四時限程のゼミや合宿、そして神奈川県内や関東地区の大学のゼミナール大会に出場し、「昭和四十二年不況の元凶」と題し発表したことを今なお鮮明に覚えています。

二年次から続けていたボランティア活動「横浜市母子家庭寮」の慰問は、四年次に友人の協力を得て横浜市内十二箇所全の母子家庭寮の皆さんを青少年ホールに招待し、一日多彩な演芸会を催して喜んで頂きました。

同級生の今井清太君と八畳余の狭い部屋で三年半共に暮らした絆は今も強く、私の最大の宝物です。

橋本 正俊

やりがいのある公務員



入学が昭和三十七年で卒業が四十一年次第二法学部法学科の俗にいう夜学生で、それなりに苦勞した思い出が浮かびます。何とか単位を落とさず卒業したい、職場で大学卒業者と同一資格を取りたいという一念で、

毎日、学校の地下食堂でラーメンを啜り、半分は寝ていたかもしれませんが、休まないぞという気概を持って頑張った気がします。

当時は、夜学生仲間も多く心強かったし、大学もいろいろ制度面で改革をしつつある時代で、学内も明るく、通学にも楽しみ



2015年度 村橋・フロンティア奨学金 奨学生採用証授与式

授与式での記念撮影

今回、村橋・フロンティア奨学金に採用していただいたことで、自分自身により大きな自信ができました。

なぜなら、この奨学生に採用されるということは、経済的に修学が困難であり、かつ村橋氏の精神である「報恩、感謝、功德」の心を理解し、その精神を引き継ぐ人材であると認められたことになるからです。この事実は、私のこれからの大学生活の糧に、そして原動力になることでしよう。

道を切り開いて行く希望を与えていただいたのだから、採用していただいたことだけに満足せず、感謝の気持ちも忘れずに、精一杯精進していきたいです。

私には研究者になりたいという夢があり、必然的に大学院進学を目標にしています。特に興味のある分野は分子生物学、中でも細

胞小器官についてです。しかし、恥ずかしながら大変無知であるために詳細を述べる事ができません。だから私は、この神奈川大学で素晴らしい教授の方々の講義を聞き、自主学習を積み重ねて興味のある分野についての知識、思考力を深めていきます。同時に、大学院進学に見合うような学力を身につけたいと思っております。

私は学生の第一の本分は学業であり、日々の勉強に全力で取り組みことは当然だと思っております。しかし、机上では学べないことを学びたい、学業以外になにか今の自分にしか打ち込めることができないものが欲しいと思ひ、大学から吹奏楽を始めました。神奈川大学吹奏楽部は、全国大会金賞受賞を通過26回達成した超強豪です。毎日の練習ももちろん厳しい、辛いことも多い。しかしそれでも私は充実した毎日を送ることができています。私の乏しい語彙力では表現することのできない楽しさが、そこにはありました。今後は、当面の目標として学業と部活動の両立を掲げ、さらに上を目指して行きたいです。

松永 豊

「松竹梅」で熱く語り合った



島根出身で昭和五十三年経済学部を卒業し、今年還暦を迎えました。

学生生活はポピュラー音楽部に所属し、バンドでギター&ボーカルを担当しました。現在の十六号館が建っている場所にローテファーンがあり、そこでライブもやらせてもらいました。レコードや楽器購入費を得るため、夕方は横浜関内のビアガーデンでウェイターをやりながらプロのパン

生演奏を聴きました。六角橋商店街の雰囲気が好きで、「松竹梅」という春日八郎の曲が流れる飲み屋で、友達と音楽の話も熱く語りあったことも懐かしい思い出です。

公務員志望で故郷の県職や

市役所を希望するも、あえなく撃沈。大学に教職の聴講生として残り次回に挑戦中、神戸の叔父から「人事募集している企業がある」との知らせを受け、新聞社ともう一社を受けたところ、新聞社は不合格、もう一社は合格で、結局それが今の会社（ノザワ、東証二部）となりました。

入社して配属されたのは生産部門。二十二年間、関東の工場生産管理や物流、総務を経験し、四十五歳で初めて関西の工場へ転動しました。その後、本社（神戸）の購買や総務、経理の各部長、取締役副本部長を経て、現在は常勤監査役として勤務しています。

神大駅伝部をずっと応援しています。頑張ってください。（ノザワ常勤監査役）

工学部機械工学科1年

左光 拓哉

今の目標は、自立をすることです。現在私の家は、父姉の病により経済的にかなり厳しい状況ですが、両親は実家の事は気にせずにとにかく自立しなさいと言ってくれます。

私は、第一に自分が一人でも生きていけるように、大学を無事に卒業し、就職したいと思っております。そして両親への親孝行として、収入が安定してきたら、少しでも恩を返したいとも思っています。

私自身の強みは、私の思考能力だと思っています。私は、自分に興味のあるものでなければ長続きしない人間ですが、私自身の興味を上手く引き出すために、思考自体を誘導する行動をすることが出来ます。具体的には、私は中学の頃に数学が大の苦手でしたが、当時好きだったゲームがどうやって作られたか、もし自分がそのゲームの開発に参加できたなら何ができたか、そういうことを考えて自分の思考を誘導することで、苦手分野

の克服に成功しました。今では得意科目です。自分の中に客観的な第二の視点を作り出した、というだけの話ですが、私はこれで苦手分野というものもなくして来ました。

こういった技能を活かして将来は公務員になりたいと思っています。水道関連の技術者です。というのも、公務員という職業に最も必要な要素は「仕事を正確にこなす」ことだと思っているからです。簡単そうに見えてもとても難しいことだと思えます。自分で何が「正確」なのか考え、計画を整え、遂行する。地域の状況や同僚の予定などを考えるだけでも大変でしょう。そこにはきつとただ勉強するだけでは学べないことがあり、誰もが「苦手分野」なはずで、す。そういった他の人がやりにくいと思っている仕事こそ、私に適していると考えています。

この夢を実現するためにも、まずは奨学金などを利用して良い大学生活を送り、社会人としての基礎能力を身につけておきたいと思えます。



# 「村橋精神」に感謝

## 平成27年度の村橋・フロンティア奨学金を給付された学生から 寄せられた御礼の言葉を紹介します。

経営学部国際経営学科1年

### 池田和生

まず初めに、この度は奨学生として選んでいただき、誠にありがとうございます。自分がこんな素晴らしい奨学金をいただいてもいいのかもしれないと感じております。村橋・フロンティア奨学生という名に恥じぬように、精一杯大学生活を全うしていきたいと思っております。母子家庭という状況の中で大学に入り、勉学とアルバイトなどの両立が厳しい中で、このような奨学金をいただくことができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私はもともと高校卒業と同時に公務員に就職するつもりでした。だが、私には「税理士」という夢があり、それを知っていた母親が気を遣わないでいいから大学に行きたかったら行きな

理学部生物科学科1年

### 岡ノ谷京香

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。設立者である村橋三好氏、有志団体であるフロンティアクラブの方々

がありました。

ゼミ(民法―中馬教授)の授業が楽しく、仲間とのコンパも懐かしい思い出です。

私の職歴は、高卒で自治体(神奈川県庁)に就職しました。運に恵まれ、公務員として

多岐にわたる地方自治の行政を経験させて頂き、いつも時代の変化を感じる事が出来ました。また、住民の要請の窓口になり、成果が得られた時の達成感は何れも、若い人にも是非味わってほしいです。公務

員も結構やりがいのある仕事があります。在学生の皆さんにも推薦したいと思えます。この度、新規に会員にさせて頂きました。村田会長さんにご縁をいただき感謝しています。よろしくお願



### 村越 眞一

## 今なお勉強の大切さを痛感

工業経営学科を昭和五十四年に卒業しました。在学中はテニス同好会での活動が中心でした。同好会、アルバイト、学業の優先順位で両立ならぬ「三立」を目指しながらの慢性的に時間不足の学生生活を送ってまいりました。当時はまだ学生運動が継続してあり、何度かの試験がレポート提出に変わったこともあって、なんとか卒業単位数を取得できたような状況でした。北岡

正敏先生の電子計算機システム研究室に籍を置いていた四年次は卒業できない。もともと卒業研究に軸足を置くように」とご指導頂き、それから気持ちを切り替えたことで、今の会社(得意ではないファッション業界ではが研究室での経験を活かせる情報システム部門)に採用され、無事社会人としてスタートをきりました。北岡先生には本当に感謝しています。

今年で入社三十七年目になります。仕事も情報システム部門から会社全般をみる立場となり、改めて多くの知識や勉強の大切さを痛感しております。ま

経営学部現代ビジネス学科1年

### 吉岡智匡

この度は村橋・フロンティア奨学生に採用していただき本当にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で大学に通うのは非常に厳しく、大学に通信しながら学費を払うためアルバイトをしてお金の大切さや働くことの大変さを日々感じるとともに、今まで育てくれた母に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。母の気持ちに心えるために一生懸命勉学に励み、自分の夢である高校の日本史の教員に近づけるように努力してきました。その私の努力が村橋・フロンティア奨学生に採用という形で評価され、この一年一生懸命勉強してきたことは間違っていない

現在、NPO法人「長津田パオパオハウス石黒さんち」という障害児支援の非常勤スタッフとして、一年以上活動しています。この活動は、障害に対する理解だけでなく、教師に必要な知識と能力を得ることができ、これからの勉学以外にも一生懸命取り組んでいきたいことのひとつです。また、日本史の教師になることが私の夢なのですが、障害児支援の活動を通じて養護学校の教員にも挑戦したいと思うようになり、将来の選択肢の幅が広がりました。

最後に、私を村橋・フロンティア奨学生として採用してくださった神奈川フロンティアクラブの会員の方たちと名誉博士である村橋三好氏への感謝の気持ちを忘れず、村橋・フロンティア奨学生としての自覚を持ち、これからの学生生活を送っていきたく思います。また、大学卒業後は村橋・フロンティア奨学金卒業生として、将来の村橋・フロンティア奨学生を支えていけるような社会人になれるように努力していきたいです。

### 鈴木 稔

## ゼミは金融論の原司郎先生



受講しました。当時先生は四十歳の少壮気鋭の教授で金融業界では有名でしたし、農業金融にも造詣が深いため志望した次第です。

母校神奈川大学を卒業し四十六年になります。二十一歳の時に第二経済学部経済学科に入学し、二十五歳で卒業しました。神大入学前二年間は働きながらK大学通信教育部に在籍しましたが、卒業するまで最低七、八年を要すると知り、教員の肉声が開ける神大に入学しました。勤務先は横浜関税前にあり、大学までは東急東横線桜木町駅から至近距離にあったため、第一限の授業から出席できました。大学では、著名な先生方の講義を受講させていただき本当に良かったと今でも感謝しております。在学中に学園紛争が起き学内が騒然とする中、ゼミは原司郎先生の金融論を





フロンティアクラブ会員紹介

石渡 卓

神奈川大学の思い出と今の私



私の入学式とオリエンテーション風景は、かなり衝撃的だった。東門はバリケードで閉鎖され、ヘルメットを被り角棒を持った学生らが大声で糾弾しながらデモ行進を行うなどしてキャンパスを占拠していた。とんで

もない大学に来てしまった！これがわが母校の第一印象でした。当然、校舎は薄汚れ授業も休講ばかり。それをいいことに麻雀やアルバイトに明け暮れ、日々のクラブ活動をもって大学生活を過ごしているつもりでいた。ろくに勉強もせずに稚拙な

レポートで質より量を優先して早々に単位だけは取得しつつも、ひと通りの遊びも覚え、四年間でめでたく卒業できた。学業はそこそこに、それなりに様々な体験が出来たが、今思えばもっと学生の自分を尽くせば良かったと深く反省している。

現在は生まれ育った地元の信用金庫で仕事をしているが、多くの人々との出会いが財産になっっている。健康である、大切な家族がある、やるべきことがある、いつまでも気力がある。つまり「〇〇があること」が大切だ。「××がないこと」はネガティブでいただけではない。一日一日をポジティブに生きる。この一瞬は二度とないもの！その命とは時間なのだから！  
(昭和51年貿易卒、湘南信用金庫理事長)

フロンティアサロン講演 講師寄稿

マイナンバー制度への企業対応

(平成27年7月15日講演)

大野 実  
社会保険労務士  
法人大野事務所 代表社員



マイナンバー制度は、国内で住民登録をする全ての人にそれぞれ12桁の番号を割り振る制度で、平成28(2016)年1月から国や自治体が社会保障と税災害対策の3分野での利用を始めるものです。運用開始に先駆け、本年10月5日以降にその「通知カード」が全国民に与えられることになっていきます。

このことから、国民ひとりひとりにとって、またマイナンバーの關係事務を取り扱う企業

にとっても、その番号の取得や利用、提供、保管、破棄、安全管理措置、規程の整備などについて具体的な対応が急務となっています。

私は、社会保険労務士という仕事していることから、とりわけ社会保障に係る行政手続と密接に關係する「マイナンバー」に關して、基礎知識から企業の対策について、お話をさせていただきます。

私は、神奈川大学法律学科



熱心に耳を傾ける参加者

世界は広いーグローバル目線でのマインドセット

(平成27年5月13日講演)

水林 俊彦  
オプティマイジング・  
オーガナイゼーションズ・  
ジャパン執行役員



でディファクトスタンダードを取るといふ競争戦略においても、日本人の存在感が薄い、と言わざるを得ません。

その根本的原因は何か。「年功序列が若年層の自由な発想、発言を阻害している」「物造りのハード面では日本人は優れているが、ソフト面での発想が不足」という外国人のコメントがあります。

もなります。

グローバル化の波に目を向けず、「安全で心地よい、ゴールデン鎖国」から脱却できないでいる若者が多いと聞きます。私は1980年(昭和55)より22年間、外国通信社に勤務しました。いろいろ苦労もし、多くの反省点もごさいます。限られた時間の中で皆様に経験談をお話させて頂きました。

人はそれぞれ、産まれ育った国、環境、地域と密接に關係するカルチャーを持っています。大きく分けて東西社会に存在する二つカルチャーの相違を知っておくことは、これまでの経験から肝要だと思います。将来、いわゆる「和洋折衷」の発想を駆使して国際舞台に挑んで頂きたいというのが、私から現在学業に専念している学生の皆さんへのメッセージです。

戦後70年、敗戦から立ち直った貿易立国日本。この間、平和主義を念頭に刻々と変化する国際情勢と取り組んできた日本政府。官民を問わず我等、日本丸は、グローバル化の荒波に否が応でも揉まれる時代を迎えています。このような環境のもと、よく耳にする言葉に「日本人はグローバルイズムに疎い」があります。残念ながら、国際政治の舞台や国際経済市場におい

て、老若男女を問わず自分の考えを前面に出し、相手にアピールする。当然相手との考え方が違う場合は徹底的に両者の意見を述べ合い、妥協点を探ろうとする欧米スタイル。かたや我ら日本人が大切に「和の世界」。「自分より相手の気持ちを重んじて行動する」。これは日本人が誇れる長所ですが、時として、相手に自分の主張を伝えられず、自分のアイデンティティーが曖昧となり強い存在感を相手に印象付けられない、という短所に

「グローバル化に一番積極的な大学はどこか」「それは神奈



古川産官学共同専門委員長が講師の略歴を紹介